

よしよ 笛しよ 田

し、離れ離れになつていた心が、一つのカタチに結び合われます。モニユメントの周囲を巡ると違う表情のカタチになり、ある瞬間にハートになります。ハートとして結び合ったカタチが、幸せと感じた時間と共に記憶され、その記憶は背景の琵琶湖と共に記録される事を願っています。

見えないものをカタチにする

「結」ですが、貴方と私の「YOU+I」と書く事にします。私自身も4月から「結のまちづくりに研究所」を立ちあげましたが、その結の意味とも連動しています。

しばた・いづみ 早稲田大学大学院修了。仏政府公認建築家。一級建築士。主な作品にJR行橋駅(福岡県など)。1996~2013年3月、滋賀県立大学教授。今年4月、結のまちづくり研究所と柴田いづみまちなか研究室を発足。

り、汎ヨーロッパ運動を唱えたEUの父、リヒャルト・クーデンホーフ・カレルを当時のオーストリー・ハンガリー帝国の公邸として貸していましたが、その家で、父ハインリヒ公使と母光子との間に生まれ育っています。

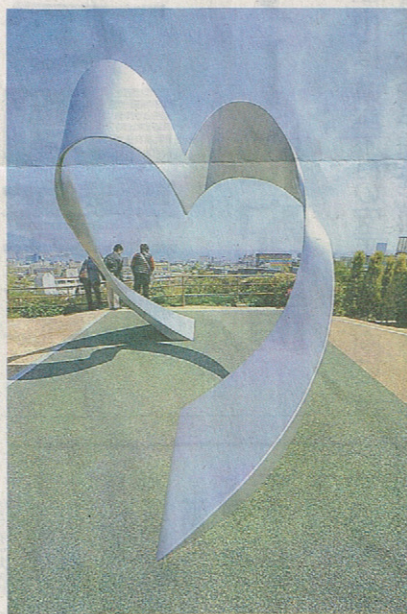
このモニユメントの完成は、私のコンセプトをうまく動画のプレゼンにしたててくれた出口拓磨君、デザインを最後にまとめてくれた服部康平君をはじめ、滋賀県立大柴田研究室の学生達との「結」の結晶であったと思っています。

琵琶湖を眺望する名神高速道路大津サービスイリア(上り線)に「恋人の聖地」のモニユメントを依頼され、最初にイメージしたのはメビウスの輪でした。メビウスの輪は表も裏もありません。恋人達の相手を思ふ心を、表も裏もない二つの相似形に託しています。違う地点からスタート

モニユメントのニックネームとして名づけたのが「結」。恋人達にうまくゴールインしてもらいたいと



柴田いづみ



「恋人の聖地」のモニユメント「結」(大津市朝日が丘2丁目)

(建築家、滋賀県立大学名誉教授)